

西中だより

平成27年度 No.5
平成27年 5月26日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

◆◆◆ お詫び ◆◆◆

第4号でお知らせしました「岩瀬支部陸上競技大会」における西中生の入賞者について、「2年奨励種目1500mで「5位：松岡 大雅・4分46秒15」が漏れていましたので、お詫びして訂正いたします。大変失礼しました。

支部陸上競技大会や練習を通して学んだこと（3年生の感想より）##

- 生徒達は、長い期間練習に取り組み、自分の力を伸ばしてきました。そして、十分な準備をして、今年の支部陸上競技大会に臨みました。したがって、大会では貴重な経験をしたに違いありません。その経験を、他の西中生に紹介し、参考にしてほしいと思います。指導にあられた安田先生、近田先生から学んだことも随所に現れています。（一部、表現を変えて掲載してあります。）〈敬称略〉
- ・「今年が春季大会が一番の目標でした。その理由は、大会で自分の課題を見つけ、高校生の動きを見て技術を勉強することができたからです。大会で見つけた課題を修正するために練習した結果、支部陸上大会でベスト記録を出せたのではないかと思います。」〈小枝友樹〉
- ・「練習に参加できない日が続いた後に練習に参加すると、走っている時の自分のフォームが練習していた時と比べて、少しおかしくなっているような感じがしました。だから、練習は休まずに、参加しないとダメだと思いました。」〈二瓶雄太〉
- ・「支部陸上大会を終えて思ったことは、一日一日の練習をさぼらず、しっかり行うことで、目標に達成できることが分かりました。先生がいつも教えてくれた、『決められたことは、しっかりやらなければいけない。』ということがよく分かりました。」〈名越大貴〉
- ・「努力をすれば、必ず報われるということが分かりました。優勝することはできませんでしたが、確実に大きく前進できたと思います。結果は、3位と惜しかったのですが、1年前の自分には考えられない成長でした。この悔しさを胸に、これからもがんばっていきます。」〈水野琉加〉
- ・「練習は、がむしゃらにやることも大事だけれど、考えながらやらないと自分が成長しないし、技術も上達しないと思いました。3年間練習をがんばってきて、雨の日や風が強く吹く日もあり、今日は行きたくないなと思う日もありました。でも、支部大会で走る1本のために休まずにやってきて、終わった後には「休まずに練習してきて良かったな」と思いました。いっぱい練習していくうちに、先輩方を超えたい、指導してくれた先生方に恩返しをしたいと思うようになりました。」〈星 舞由璃〉
— 次号も続きます。 —
- 先週から朝の校庭では、通信陸上と県大会へ向けて練習に励む生徒の姿が多数見受けられます。中には、吹奏楽部の生徒が校庭を何周も走る姿も見受けられます。生徒達は、今度は何を目標に走っているのでしょうか。一人一人が自分の目標に向かって努力する姿は、清々しく、感動を覚えます。

《 校長のつぶやき 》・・・「花を愛でる心の余裕を持とう」・・・

○「五月礼賛」の一節～与謝野 晶子（職場の教養より引用）～

5月は一斉に花々が咲く月です。この様子を与謝野晶子は次のように詩で表現しています。

「五月は好い月、花の月、芽の月、香の月、色の月、ポプラ、マロニエ、プラタアヌ、つつじ、芍薬、藤、蘇ほう、リラ、チュウリップ、けしの月」。日本人は花を愛でる民族だといわれています。

- やがてこの花を愛でる文化は、江戸時代に盛んになり、園芸種の菖蒲や朝顔、椿や菊などの品種改良が行われるようになりました。とりわけ、春に咲く桜の花を愛でる「お花見」は、今や国民的行事になりました。須賀川市でも釈迦堂川のサイクリングロードの桜並木や長沼の桜の名所めぐりなど、盛んです。本校でも、校舎周辺に綺麗に桜が咲きました。他にも用務員の斎藤さんが毎日世話をしている正面玄関前のプランタに植えられた草花が、毎朝登校して来る生徒を笑顔で迎えています。
- 忙しい毎日だからこそ、花を愛でる心の余裕を持つことは大切なことだと思います。先日、本校の美術部が連休中に牡丹園で写生会を行いました。どのような絵ができるか今から楽しみです。



